

年 組 名前

2020年3月24日付

問1：愛知・名古屋アジア競技大会は、
何年に開かれるでしょうか。

() 年

問2：大会エンブレムの紫、金、緑は、
それぞれ何を表しているでしょ
うか。

紫 ()

金 ()

緑 ()

問3：愛知県のシンボルの木、鳥、魚
は、それぞれ何か調べましよう。

木 ()

鳥 ()

魚 ()

愛知・名古屋アジア競技大会のエンブレムに決まり、デザインを手
に笑顔を見せる制作者の宮下浩さ
ん＝23日午後、名古屋市中区で



愛知表す紫、金、緑

26年アジア大会エンブレム

愛知県内を中心に二〇二六年に開かれるアジア競技大会に向け、県や名古屋市でつくる組織委員会は二十三日、大会エンブレムを発表した。紫、金、緑の三色で曲線を描き、アジア・オリンピック評議会（OCA）のシンボルマークの太陽と組み合わせ、躍動感を表したデザインを選んだ。制作者は、愛知産業大造

形学部デザイン学科准教授の宮下浩さん（五十）＝同県岡崎市。応募八百八十四点のうち、最終候補六点から選定委員が選んだ。名古屋市内での発表会見で、宮下さんは「シンプルで、力強い形や色を心掛けた」と説明。紫は県の花「カキツバタ」、金は名古屋城のしゃちほこ、緑は〇五年の愛・地球博（愛知万

博）や一〇年の生物多様性条約第十回締約国会議（COP10）が培った環境への思いをイメージした。会見に出席した同県安城市出身の〇四年アテネ、〇八年北京西五輪柔道女子金メダリストの谷本歩実さんは、金の曲線について「私の得意技は『しゃちほこ内股』と呼ばれている」と満足そうに話した。